

私とかかわってきた弓達



メーカー不詳 66インチ25ポンド

学生時代に一番最初に引かされたソリッドグラスボウ。大学の部室から廃棄される寸前に救い出してきてオーバーホールをしたものです。

やすりと砥石でエッジのバリを除去し、ウレタンで塗装しなおしました。ゴム製のグリップは風化してなくなっていたので、エポキシパテを使って自作しました。

グリップの位置は手持ちの2116のアローを実射しながら最も振動も少なくリムバランスが良いところを探りながら決定しました。ストリングはファーストフライトによる2プライのフレミッシュを自作しました。

ヤマハYG 68インチ36ポンド

最初のマイボウ、かなりお気に入りの弓であったのですが1年間でリムがボロボロになってしまいました。

24SRT-X 1816の28インチアローを使用。（今考えるとかなりのオーバードロウ）

ヴェインはブヨンのブラスチックフェザーNo.70、ノックはハミルトン。

サイトは最初はDJサイト、写真の時期はチェックイットの5インチ

（和泉射場にて）



ブラック・ウィドウT1200W

65インチ37ポンド 最初の
テークダウンボウ(おそらく関東学連で第一号)、結局ハンドルライザーを2回破損したのですが、いずれも自己新を記録した直後だったのは何故だったのでしょうか。 サイトはチェックイット、スタビライザーはベンピアソンのマーキュリーチップカプラー27インチ(水銀5オンス)、レスト、クリッカーはブヨン製。タブはウィルソン。アローは24SRT-X・1718、フェザーはプロフレッチ、

ノックはハミルトン。

立教大学志木レンジにて（対日体大戦）

試合途中で的が溶けてしまいしばしば試合が中断してしまうような暴風雨の中での試合でした。

ブラック・ウィドウ T 1 2 2 5 w

6 5 インチ 4 1 ポンド

4年生の夏合宿中に T 1 2 0 0 W の 2 本目が折損したため、代替品として入手したもの。いっぺんに 4 ポンドアップとなったため、かなりきつい思いもしましたがパワーアップしたためか、長距離の自己新も大幅にアップしました。この弓も 2 年後にハンドルライザーが折損。ヤマハの Y t s l に変更せざるを得なくなりました。アローは X 7 1 8 1 6、フェザーはブヨンのフェザーフレックス(通称ハエたたき)。

センタースタビライザーは義理の兄から不要になったゴルフドライバーをもらって自作したもの。ストリングはダクロン B 5 0 による自作。タブはウィルソン。

この弓の使用後期からクッションプランジャーの使用が認められたため、自



野辺山での夏合宿

分でホールを開けてバーガーボタンを
セットしました。

ちなみに、18メートルの記録はいま
でもこの弓が持っています。尚、この
時のアローはX7 1816 + スピン
ウィングヴェイン（今のものではなく
当時のL字型をした2枚羽根のもの）

ヤマハY T S L 66インチ46ポンド

ブラックウィドウのハンドルライザーが破損したためセコハンで入手し
たモデル。

68インチ36ポンドから始まり最後に66インチ46ポンドに落ち着
きました。どうしてもアローがきれいに飛ばないので実質ポンドを計測
したところ48ポンドありました。そのためX7・1816をX X75・1818
に変更したところきれいにフライトするようになりました。

この写真ではKバイメタルの24インチアルミテーパーロッドをダブル
で使用しています。後にベンピアソンのマーキュリーカプラー（30 z）
をカウンターバランスとして付加使用していました。

途中でVバーセッティングに変更したのですがM6のセンターブッシュで
はもたなかったため、後日センターブッシュがM8になったY T S L I
Iに買い換えることになりました。

ストリングはダクロン、アローはX X75・1818、上下のT F Cの中には
振動調整のために一円玉が一枚ずつ挟み込んでありました。

野辺山での夏合宿



野辺山での夏合宿

ヤマハ Y T S L Ⅱ 68インチ 46ポンド

リカーブボウでの記録はほとんどこの弓が所有しています。

アローは X 7 ・ 2 0 1 4 （元プロアーチャーであった野中哲治氏に作ってもらったスーパーヘリカルアロー） + クリッカーポイント

タブはウィルソン スtring は ケブラー
プラスチックグリップは除去してエポキシパテで作り直したローグリップ

センタースタビライザーはヤマハの R C 3 0

ホイット T D 3 68インチ 45ポンド

ホイットに変更してから、TD3、TD2のライザーと、TD3リム、Jリム、TD2Bリム、ZENリムといったリムの組み合わせをいろいろと試してみました。

ポンド数は30ポンドから59ポンドまで。使用したアローは1814から2115とさまざま、おかげでスパインに関する知識はかなり得られたと思います。

このデータを元にBASICでスパインシミュレータを試作したのですが、母校の明治大学ではなく日本体育大学の監督だった野中茂氏が利用しただけでした。

このころのモデルはティラーアジャスタが内蔵されていなかったなので、グラス繊維のテープでティラーを調整してシュートしていました。

タブは学生時代から相性の良かったウィルソン(改造バージョン)

ストリングは野中茂氏作のフレミッシュストリング



嶮山フィールド場にて



尾瀬合宿にて



ランボー（映画仕様モデル）

ホイットが映画「ランボー怒りの脱出」のために作り上げたコンパウンドボウ。

同じネーミングでホイットからシリーズ発売されていましたが、写真のものは映画仕様のものです。

映画仕様のモデルはケーブルガイドを必要としない「オメガホイール」が装着されていました。

アローはX X 7 5 ・ 2 1 1 4 カモハンター+ 1 2 5 グレインフィールドポイント

このころは、フィンガーシューターでした。

オハイオのAMOショーで聞いたところ、このモデルは現S K Yアーチェリーオーナーのアール・ホイットが関与していたようです。

T S S クアドラフレックス

仲間から下取りしたユニークなコンストラクションのモデルです。

元祖、スプリットリムしかもフォーjdハンドルライザー、そして、
ノーケーブルガイドボウ！！

R A M B Oのオメガホイールを装着したり、AIMシステムにしたりして
みました。それぞれ調子は良かったのですが、オリジナルを大切にしたい
と考え元に戻してあります。

ただし、写真ではケーブルのあばれを防ぐためダンパーガイドを付加し
てあります。

このモデル、ホイットを買収する前にイーストンがテスト用として開発
していたものです。

ちなみに、元の持ち主は練習点ですが30M・360点を2回ほど記録
しています。

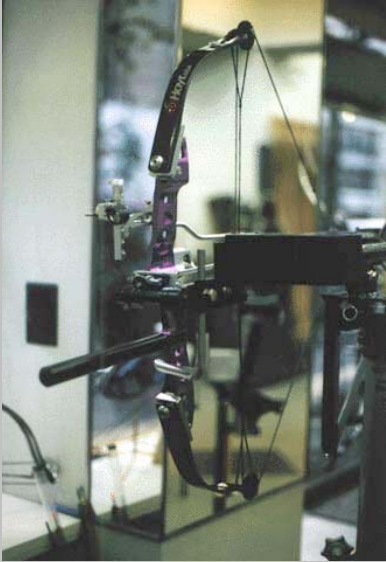


プロパンテージ／カーボンプラス

デフレックスの強い、どちらかとい
うとフィンガーリリース用のロング
ボウモデル。

映画R A M B O 3で使用されていた

木島平合宿にて	のはこのモデルのオーバードローバージョン。 スーパースターを入手したため、しばらく寝ていたのですが、カーボンプラスは元プロアーチャーの野中哲治氏のところに嫁入りし、ハンドルは千代田区の初心者入門用としてストックしてあります。
----------------	--

スーパースター／ファーストフライト アルミライザーの一号機。 このセットでさまざまなホイールを交換して実験しました。 プロホイール、エナジーホイール、コマンドカム、フラッシュカム、ベクター3・・・etc 約3年間使用したのですが、ライザーの金属疲労のためか、数射のシュートでハンドルが振じれてしまいヒットポジションが変わるという経験をしました。 いわゆる、焼きなましの状態になってしまったのかと思うのですが、アルミライザーの寿命は想像以上に短いと思います。 現在はリムをはずしてライザーのみ記念品として倉庫入りしています。	
---	--

右の写真は、ドローイングマシーンでチューニング中のものです。



左の写真は千代田区アーチェリー協会の有志による「温泉合宿」の時のもの。

ヨークもハードヨークで、ケーブルガイドマウントもマーチンのもの、サイトもチェックイットのS9000。

このころは、ドローセット29インチを引いていたため、両肘の関節をいためてしまった。

この後、次第にドローレングスを短くセットし現在の26インチ前後のセットに落ち着きました。

エンタイサー／カーボナイト

スーパースターの後釜として入手したリフレックスモデル。最初のころははスプリットリムの神経質さに悩まされました。ピープサイトがケーブルを削る現象に悩まされていたのですが、リリーサーをスコットカリパーからカーターBKハンターに変更して解決。



これも、エナジーホイール、コマンドカム、ベクター3といろ
いろなホイールに交換して実験
しました。

このライザーも金属疲労が見え
てきたので、現役引退にしまし
た。

バイパー／カーボナイト

某ショップを手伝っていた際に、テスト用として借り受けていたもの。

このモデルは、カタログに掲載されていなかったアキュホイールモデル
でした。

（HOYTの社長・ランディ・ウォークと話をつけて日本向けに特別にアSEMBルしても
らった通称JPスペック）

このセット、過激なリフレックス構造の割には、ドロー感触は滑らかで
シュート感も私が過去に使用したモデルの中でも上位にランクします。

アローも比較的質量のあるBEMANにしたのが良い結果を生んだもの
とされます。

尚、ショートサイズのボウレングスのため、ローリング防止用にオフ
セットカウンターバランスをセットして使用していました。

結局、ショップと決別する結果になったためこのセットは返却したので

すがちょっと未練が残らなかったといったら嘘になります。

それほど、相性が良かったモデルでした。

2000.8/14

ジャンクスペシャル（ミスティック／ファーストフライト）

前述のバイパーを返却してしまい、使用できるセットがないため手持ちのパーツでくみ上げた混成セット。

ライザーはインポートギアで購入した、ミスティックレベルモデルのもの。

リムはスーパースターについていたファーストフライトリム。

レストは、スーパースターの頃から使用していたゴールデンキーのプレミアレスト。

スタビライザーは、自作のもの。

ストリングやバスケブルは家に寝ていたスペアストックを流用。

ホイールもテスト用に購入してあったアキュホイールを使用。（ベクター3も使用できたのですが、ポンド数が上がりすぎてしまうので今回は見合わせました）

その他のパーツもありあわせということでまさにフランケンシュタインのごときジャンク・スペシャルとなりました。



2000.8/14

キャロル・ルイス	
	かつて赤い悪魔？？の異名をとったモデル。
	P A Aの試合でパーフェクトなども記録したそうです。
	リムはW i n gのプレゼンテーションⅡと共通でした。
	写真のものは66インチ36ポンドで、もとT A Pアーチェリーの伊東秀介氏の所有物でしたが私が譲り受けたものです。
2003.2.25	

アレン・ターゲットモデル	
	コンパウンドボウの基本パテントを持つアレンのターゲットモデル。



ハンドルはウッド、スチールケーブルの巻き上げ装置にギターのパーツを使うなどいかにもガレージファクトリーで仕上げた手作りの弓といった印象です。

これは、もとTAPアーチェリーの伊東秀介氏の所有物でしたが私が譲り受けたものです。RAMBOの映画仕様モデルと一緒に私の大切なコレクションになりました。

2000.12.4

ボウマンアキュライザーターゲット

長年、懸案になっていたモデルです。

某ショップを手伝っている間は取り扱い商品ではないものを使うのはまずいと思い遠慮していたのですが、フリーになった現在気を使うこともなくなったので思い切って入手しました。

組み合わせるスタビライザーも色々と検討したのですが、トルクの問題はあまり考えずに済むので短くて取



り扱いが楽なものを選択しました。 ローリングの問題は、オフセットカウンタバランスで補正し、あとはピッチング方向のバランスのみなのですが、これもグリップの角度を変化させれば解決しそうです。 サイトはもちろん自分の扱い品であるシュアロックのショーティ。 スコープは自作のアクリルホール。 レストは定番品ゴールデンキープレミア、レストアームはA R E、ただしこの組み合わせではF I T Aのレギュレーションをクリアできないので長尺のものに変更予定（多分自作することに）。 詳細は現在使用中のセットをご覧ください。	リフレックスライザーの強度と、デフレックスポジションのグリップという工夫されたコンストラクション。 完全なセンター位置にあるケーブルガイド。 等々現在考えうる理想パターンを網羅しています。
---	---

2000.9/15

リカーブボウ

ヤマハY G ブラックウィドウT 1 2 0 0 W ブラックウィドウT 1 2 2 5 W ヤマハY t s
I ヤマハY t s I 2 H o y t T D − 3 H o y t T D − 2

（T D − 3 リム、T D − 2 J リム、T D 2 − B リム、Z E N リム）キャロルルイス ヤマハ
Y t h ベアコディアックT D ラムリフレックスターゲット

ラムリフレックスハンター ベア e r 7 6 P S E ユニバーサル （H o y t グラスリム）

コンパウンドボウ

RAMBO（映画仕様） RAMBO（市販モデル） RAMターゲット スペクトラ700
0 TSSクアドラフレックス

プロバンテージ／カーボンプラス スーパースラム／スプリーム ミスティクレベルXT

スーパースター／ファーストフライト エンタイサー／カーボナイト バイパー／カーボナイ
ト

ミスティック／ファーストフライト（ジャンクスPECIAL）

ボウマンアキュライザーターゲット

ホイル組み替えテスト

HOYTトライドロー、HOYTオメガホイル、HOYT AIMホイル、HOYTフ
ラッシュカム、HOYTプロホイル、HOYTコマンドカム（初期モデル）、HOYT
エナジーホイル、HOYTマスターカム、HOYTアキュホイル、PSEベクター3
ホイル

[インデックスページに戻る](#)